

国家基本政策委員会

委員一覧 (20名)

委員長	鴻池 祥肇 (自民)	輿石 東 (民主)	林 芳正 (自民)
理事	郡司 彰 (民主)	谷岡 郁子 (民主)	松下 新平 (自民)
理事	辻 泰弘 (民主)	羽田 雄一郎 (民主)	吉田 博美 (自民)
理事	山本 順三 (自民)	平田 健二 (民主)	木庭 健太郎 (公明)
理事	中西 健治 (みん)	柳田 稔 (民主)	山口 那津男 (公明)
	石井 一 (民主)	石井 みどり (自民)	亀井 亜紀子 (国民)
	岩本 司 (民主)	谷川 秀善 (自民)	(23.1.27 現在)

(1) 審議概観

第177回国会において、本委員会は、国家の基本政策に関する調査について、衆議院国家基本政策委員会と合同審査会を3回開き討議を行った。

〔国政調査等〕

国家基本政策委員会合同審査会は、3回開かれ、谷垣禎一君、山口那津男君が発言者となって、菅内閣総理大臣との間で討議が行われた。

2月9日の合同審査会(第1回)では、樽床伸二衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、社会保障と税の一体改革に関するスケジュール、社会保障改革案をまとめられなかった場合の菅総理の責任、税の積算根拠となる社会保障改革案を示す必要性、消費税を含む税制の抜本改革を行う時期、小沢元代表の証人喚問に対する菅総理の認識、民主党のマニフェストにおける年金改革等の実現可能性等について討議が行われた。

2月23日の合同審査会(第2回)では、

鴻池祥肇参議院国家基本政策委員長が会長を務め、ニュージーランド地震に対する我が国の支援体制、小沢元代表をめぐる問題の処理、マニフェストを踏まえた政権運営に対する認識、予算及び関連法案の年度内成立に向けた覚悟の有無、対露・対米を始めとする政府・与党の外交姿勢、普天間飛行場の辺野古沖移転の実現可能性、ニュージーランド地震を踏まえた耐震化推進外交の必要性、米海兵隊の抑止力及び鳩山前総理の「方便」発言に対する認識等について討議が行われた。

6月1日の合同審査会(第3回)では、樽床伸二衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、菅総理の退任意思の有無、法的根拠に基づいた原発問題への対応の必要性、東日本大震災における被災者支援の現状と今後の在り方、第二次補正予算の編成に対する基本認識、政府による震災対応の進捗状況とその妥当性、原発事故に係る損害賠償問題に対する政府の認識と取組等について討議が行われた。

委員会経過

○平成23年1月27日(木) (第1回)

○理事の補欠選任を行った。

○国家の基本政策に関する調査を行うことを決定した。

○国家の基本政策に関する調査について合同審査会を開会することを決定した。

○平成23年6月1日(水) (第2回)

○理事の補欠選任を行った。

○平成23年2月9日(水) (合同審査会第1回)

○国家の基本政策に関する件について谷垣禎一君及び山口那津男君が菅内閣総理大臣と討議を行った。

○平成23年2月23日(水) (合同審査会第2回)

○国家の基本政策に関する件について谷垣禎一君及び山口那津男君が菅内閣総理大臣と討議を行った。

○平成23年6月1日(水) (合同審査会第3回)

○国家の基本政策に関する件について谷垣禎一君及び山口那津男君が菅内閣総理大臣と討議を行った。